

製本のススメ

Vol. 68

残暑お見舞い申し上げますと、まだまだ言いたくなる秋ですね。自然環境の変化とは大変な事なのだと、改めて実感いたします。それでも季節はちゃんと秋になり始めました。今年もあと3ヶ月 頑張っていきましょう！

今回は**エコ**の話し

ECOであってECOで無いとはこれ如何に ベンベン！針金綴じはエコだけど、糸綴りはエコじゃない。今回はそんなリサイクルについて考えてみました。

紙の世界ではリサイクルが話題で、再生紙と指定される印刷物も多い昨今ですが紙だけ考えれば良いのか？と加工する我々は考える事がよく有ります。

最近では、かなりの用紙が再生紙として作られるようになりました。その際に針金綴じならば、溶解加工途中で除去する事が出来るようになっていきます。しかし糸綴じの糸は、除去する事が現在ではできません。つまり これらは可燃ごみとなります。

ならば、カレンダー等に使われているリングはエコなのか？この針金部分はカラーコーティングされており、それが再利用には向いていません。したがって処分の際には分別が必要です。最近では紙のリングも出回ってきました。エコという面では合格ですが、質感・強度・コストの面で少々問題も多いのが現状です。

さて無線綴じは殆どが可燃処分です。背中ホットメルトが再生に不向きです。最近ではメルトの成分を問われる事も多くなり、燃やしても有害なガスを出さないタイプの糊ですと成分を提出する事もあります。これも針金同様に環境対応でないタイプも多く流通していますので、気になる方は製本会社へ問い合わせしてみてください。

ところで**長期保存する本は、やはり糸綴じです**。用紙が朽ちない限りは、何度でも糸を付け替えて修理が出来ます。針金では錆びがでて用紙を痛めてしまい修理が困難になります。

エコを考える事は素晴らしいですが、その用途に応じた加工方法を選択することが何よりのエコではないでしょうか。



Teabreak

食欲の秋です！先日高級な(?) レストランでカレーライスを注文したらカレールーが あの魔法のランプみたいな容器に入ってきました。この入れ物名前何だっけ？と考え始めたら気になり、ずーっと考えてしまいました。

みなさん、この呼び名知っていますか？これは【グレイビーボート】です。そもそもは、グレイビーソースを入れる器だったそうで、そのままドバドバと掛けるのではなく、スプーンで上品にすくって掛けてくださいね。

by (株) 井関製本